

看護学専修 看護学の実践・教育・研究者(老年看護学) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

健康課題をもつ人々に質の高い看護サービスを有効かつ適切に提供するのみならず、看護に関わる事象を検証し、看護を発展させる能力を有することが期待される。

修了後は、保健・医療・福祉機関、教育機関等における実践および教育・研究に携わる。

2年次

【特別研究】

看護学特別研究Ⅰ(6)

看護学特別研究Ⅱ(6)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

国際保健医療福祉論(2)

高次脳機能と病態制御(2)

【専門科目】

看護理論(2)

看護管理システム論(2)

地域ケア支援論(2)

老年看護援助論(2)

在宅看護学特論(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

高齢者やその家族、地域社会への関心をもち、老年看護を追究する姿勢を有すること。加えて高い倫理観や豊かな発想と柔軟性をもち、看護を展開できる力と、多職種が連携したチーム活動を推進する意志を持つことが望まれる。